

## G1ヴィクトリアマイル2023 全頭診断書

### 『今年の注目ポイント』

#### ・スパイス血統

持続力強化血統

ポールドルーラー系、プリンスリーギフト系

ダンチヒ系、

母系にナスルーラの血

特にブラッシンググループ系

母系からナスルーラの影響を受けた母父

特に欧ND系母父馬

#### ・距離実績

マイル重賞3着以内実績馬が19頭／25頭

中距離重賞の連対実績馬が15頭／25勝

短距離重賞の連対実績馬は6頭／25頭

#### ・前走傾向

前走がマイル重賞で5着以内か3人気以内。

前走の距離に関係なく、前走で5着以内か1人気

#### ・ラップパターン(今年は後傾ラップを想定)

前走が1000m通過が58秒台後半以上の時計が

掛かっていた芝1600m以上の重賞で、なおかつ

5着以内だった馬に注目です。

東京芝コースは今週からBコースが使用されます。

傷んだ内側が仮柵でカバーされるため、

「内・前」が有利な馬場になる可能性も  
視野に入れておきたいと思います。

### 『全頭診断書』

・アンドヴァラナウト

父:キングカメハメハ(欧キングマンボ系)

母父:ディーピンパクト

祖母父:トニービン(欧グレイソヴリン系/ナスルーラ系)

エアグルーヴ牝系の良血馬。

配合的には中距離向きのイメージで、  
もう少しスピードを強調する血が欲しいところですが、  
後傾ラップの瞬発戦ならば無視できない存在。

前走は「内・前」有利な馬場で、展開的にも  
追込み馬には厳しいものでした。  
そこで後方待機馬の中では最先着しており、  
差し有利な馬場になるようなら。

血統評価:C

ラップ評価:B

前走評価:B

実績評価:C

相対指数:D

・イズジョーノキセキ

父:エピファネイア(欧ロベルト系)

母父:キングカメハメハ(欧キングマンボ系)

祖母父:ラーイ(米ブラッシンググルーム系/ナスルーラ系)

曾祖母父:スルーオゴールド(米ポールドルーラー系/ナスルーラ系)

マイルG1で好走するイメージが湧かない父と母父で、

実績的にも「良馬場の非根幹距離」がベストの印象。

母系にナスルーラ系の持続力強化血統を  
2ライン持っており、瞬発力勝負より持続ラップや  
前傾ラップの消耗戦の方が向く血統構成で、  
実績もそれを裏付けております。

今年予想される後傾ラップの瞬発戦になると・・・

血統評価:D

ラップ評価:D

前走評価:D

実績評価:D

相対指数:C

・クリノプレミアム

父:オルフェーヴル(Tサンデー系)

母父:ジャイアンツコースズウェイ(米ストームバード系)

祖母父:ゴーンウエスト(米ミスプロ系)

母系に米国型血統を持つ事はいいと考えますが・・・

父がオルフェーヴルですと、母系にもう少し  
短距離向きのスピード強化血統が欲しい所で、東京の  
マイルG1となると根本的にスピード不足が懸念されます。

ちなみに、オルフェーヴル×米国型ND系の配合馬は  
若駒の条件戦なら、このコースで良く走りますが  
古馬になると苦戦するデータが顕著に残っており、  
本馬もその傾向通りの戦績を示しております。

血統評価:D

ラップ評価:B

前走評価:C

実績評価:D

相対指数:D

・サウンドビバーチェ

父:ドゥラメンテ(欧キングマンボ系)

母父:ヨハンクライフ(欧デインヒル系/ダンチヒ系)

祖母父:ダッシングブレイド(欧ネヴァーヴェンド系/ナスルーラ系)

先週のNHKマイル優勝馬シャンパンカラーと同じ

ドゥラメンテ×欧ダンチヒ系の配合馬。

母系には欧州型ナスルーラ系を2ライン持っており、

これは古馬の中距離重賞で求められる

スピード能力を強化する血であります。

本馬自身、3歳春のクラシック路線には

乗れませんでした、3歳秋に重賞で連対し、

古馬になった今春、馬場傾向と展開に恵まれた

結果とは言え、重賞初制覇を成しました。

血統構成から、適応できるラップパターンの

幅が広そうで、今後一皮むける可能性を秘めた

楽しみな存在として見ております。

血統評価:B

ラップ評価:B

前走評価:C+

実績評価:B

相対指数:C

・サブライムアンセム

父:ロードカナロア(欧キングマンボ系)

母父:シンボリクリスエス(欧ロベルト系)

(ボールドルーラー持ち)

## 祖母父:サンデーサイレンス

キングマンボ系の父に、ロベルトとボールドルーラーを持つ母系と言う配合は、2015年に12人気で2着に激走したケイアイエレガントと通じるものがあります。

また、母のハッピーパスは、マイルG1で3戦して複勝率100%のシンコウラブリーの半妹に当たります。

ちなみにハッピーパスは古馬になってから頭角を現し、マイル重賞で3度の馬券絡みを果たしておりました。

今年は先行脚質馬が少ないメンバーですから、前有利馬場になるようなら、馬場を味方に前走の再現があっても驚けません

血統評価:注

ラップ評価:B

前走評価:C+

実績評価:C

相対指数:D

・スターズオンアース

父:ドウラメンテ(欧キングマンボ系)

母父:スマートストライク(米ミスプロ系)

祖母父:モンズン(独ブランドフォード系)

今を時めくドウラメンテ産駒で、母系からミスプロで直線のトップスピードを強化。ドイツ血統モンズンでスタミナと直線の伸びを強化。

これまで一度も馬券圏内を外していないのは、「消耗戦となったレースに出ていないから」と言っても差し支え無いような「後傾ラップ向き」の配合馬。

想定通りのペースになれば、  
久々のマイル戦でも戸惑う事無く追走できそうで、  
馬券圏外に散る姿は、少し想像しにくいところですが、  
距離短縮ローテは、2戦して3着2回と連を外しております。

ルメール殿のコメントも  
「凄いい馬。勝ちたいデス。」  
と、勝利宣言は出ませんでした。

3連馬券の軸ならともかく、  
連軸としては少しだけ、ほんの少しだけ寒いデスネ。

血統評価：A  
ラップ評価：A  
前走評価：B  
実績評価：A  
相対指数：A  
距離ローテ：不安

・スタニングローズ

父：キングカメハメハ(欧キングマンボ系)

母父：クロフネ(米ヴァイスリージェント系/ND系)

祖母父：サンデーサイレンス

牝系は「華麗なる薔薇一族」と呼ばれたロゼカラー牝系。  
優秀な牝系ですが、どちらかと言えば中距離向きの牝系。

本馬の場合、母父のクロフネによって  
直線のトップスピードを強化されており、  
東京マイルの瞬発戦は望むところでしょう。

また、悪友の馬喰(ばくろう=プロ馬券師)の見立てでは  
「この馬の走り方はマイラーやね。」  
調教を見る限り、出来はスターズオンアースより

コッチの方が断然良かったで」  
と言う評価でした。

血統評価：B  
ラップ評価：A  
前走評価：B  
実績評価：A  
相対指数：A

・ステラリア

父：キズナ(ディープ系)  
母父：モチベーター(欧サドラーズ系/ND系)  
祖母父：欧ストームバード系/ND系

キズナの牝馬は非根幹距離に高い適性を示す事が多く、  
母父にサドラーズの血を持つ事で、持久力勝負になりやすい  
「内回り・小回り」と「非根幹距離」への適性が強化されてしまいます。

つまり、今回の舞台

「直線が長いコースの根幹距離」とは、  
真逆の適性が強化されており、条件戦や  
上り時計を要する消耗戦ならともかく、  
G1の瞬発戦となると苦戦は必至と感じております。

血統評価：D  
ラップ評価：B  
前走評価：B  
実績評価：C  
相対指数：D

・ソダシ

父：クロフネ(米ヴァイスリージェント系/ND系)  
母父：キングカメハメハ(欧キングマンボ系)

## 祖母父:サンデーサイレンス

父に米国型ノーザンダンサー系を持つと、どうしても筋肉の硬化時期が早まるため、若い間は芝の高速馬場で良く走りますが、加齢とともに、スピードの源となる「しなやかさ」を失って、芝への適性が劣化する傾向があります。

本馬の場合は、牝馬なので劣化の速度は緩やかになるとは思いますが、瞬発力勝負になると高次元の直線スピードを維持できず、後続に交わされる可能性は考えておいた方が良いかも知れません。

血統評価:B

ラップ評価:C

前走評価:B

実績評価:A

相対指数:B

### ・ソングライン

父:キズナ(ディープ系)

母父:シンボリクリスエス(欧州ベルト系)

(ボールドルーラー持ち)

祖母父:アグネスタキオン(Pサンデー系)

(ボールドルーラー持ち)

この配合は、持続戦に向く配合ですが、本馬は瞬発力勝負を得意にしており、近2走の短距離戦は適性外のレースでした。

とにかく左回りのマイル戦なら崩れないタイプで、特に1000m通過が「58秒台後半」以上掛かるペースなら牡馬を相手の安田記念でもシュネルマイスターを



負かすほどの女傑。

昨年のこのレースはゴチャ付いてポジションを下げ、  
3角でつまづくアクシデントと、1000m通過タイムが  
自身の本領を超えるタイムであった事が敗因。

それでも2着馬とは同タイムでゴールしているあたり  
能力とコース適性の高さを証明したと申せましょう。

今年は本馬の得意なラップパターンに落ち着く可能性が高く  
「人気するなあ～人気するなあ～」  
と呪文を唱えております。

血統評価：B

ラップ評価：A

前走評価：参考外

実績評価：A

相対指数：A

・ディヴィーナ

父：モーリス(欧ロベルト系)

母父：ディープインパクト

祖母父：マキャベリアン(欧ミスプロ系)

母はこのレースを2勝したヴィルシーナ。

東京マイルG1で活躍した父と、  
このレース2勝の母という配合で、  
遺伝学の観点からだけなら本命でしょう。

が...

3戦3勝だった中京マイルでもOPクラスでは通用せず、  
前走の阪神牝馬Sでは1秒4差の大差負け。

どうやら、コーナーが3個以上あるコース向きで

コーナー2回のワンターンコースには適性が無いように見受けられます。

東京なら、コーナー3回の1800mか2000mが良いかも知れませんな。

血統評価:注  
ラップ評価:D  
前走評価:E  
実績評価:E  
相対指数:E

・ナミュール

父:ハービンジャー(欧デインヒル系/ダンチヒ系)

母父:ダイワメジャー(Pサンデー系)

祖母父:フレンチデピュティ(米ヴァイスリージェント系)

桜花賞馬キョウエイマーチの牝系出身馬。

父がハービンジャーで、母系にヴァイスリージェント系とサンデー系の血を持つ配合は、このレースで2度馬券になったノームコアに通じる可能性があります。

ただ、ノームコアの場合、前半が速い持続戦・消耗戦の方が強い競馬を見せておりました。

本馬は母父がノーザンテーストを持つダイワメジャーになりますから、やはり底力を求められるような厳しい流れの方が合っている印象で、前走の東京新聞杯も1000m通過が57秒1と平均ペース以上で流れた前傾ラップのレースでした。

予想に反して、速い流れになれば勝ち負けに加わってくる可能性が高いと考えます。

ただ、下級条件でのことですが、  
スローペースの瞬発戦となった赤松賞  
(東京マイル1勝クラス)において、上り最速33秒0の末脚で  
スターズオンアースを差し切り完勝した事を  
忘れてはならないと肝に銘じてもおります。

血統評価:B+

ラップ評価:C

前走評価:B

実績評価:B

相対指数:B

距離ローテ:不利ローテ(短縮好走後の同距離)

・ナムラクレア

父:ミッキーアイル(ディープ系)

母父:ストームキャット(米ストームバード系)

(ポールドルーラー持ち)

祖母父:クリスエス(欧ロベルト系)

仏国のスプリントG1を2勝したクードジェニーの牝系で、  
母の従兄弟には凱旋門賞馬バゴの存在があります。

ミッキーアイルは牝馬が出世する傾向が強い、  
いわゆる「フィリーズ(牝馬)サイアー」の側面が  
非常に強く出ている種牡馬です。

重賞における距離は1200m・1400mが  
ベストではありますが、1600mも一応は守備範囲。

展開的には、前半が流れた方が良いですが  
母父にストームバード系を持つと、瞬発戦のマイルで  
ヒモに来て穴をあけるケースが見受けられます。

特に本馬の場合は、牝系から凱旋門賞馬や

フランスの最高峰マイルG1勝ち馬も出ており、  
短距離馬やから消し！という訳にはいかぬと考えます。

血統評価：注

ラップ評価：注

前走評価：C

実績評価：B

相対指数：A

・ラクラスティーヌ

父：ミッキーアイル(ディープ系)

母父：タニノギムレット(欧ロベルト系)

(ナスルーラ持ち)

祖母父：フジキセキ(Pサンデー系)

G1オークス馬エリンコートが出た牝系。

母父タニノギムレットは、ダービーを含めた東京G1を  
6勝した女傑ウオッカの父になります。

本馬は、短距離馬特有の消耗戦適性が薄く、  
後傾ラップの瞬発戦の方がパフォーマンスが上がるタイプ。

既に重賞で2度実績を残しており、  
1400mから1600mへの距離延長ローテにも  
2戦2勝の実績が有り、ミッキーアイル産駒としては  
異例の「非早熟」「非短距離」に出ている気配が濃厚です。

ヴィクトリアマイルで重要な「中距離重賞実績」は  
持っておりませんが、1400m重賞実績馬で  
穴をあけるのはこう言ったタイプかも知れません。

前傾ラップの厳しい流れでは、  
東京マイルのG1は、距離が長いでしょうが、  
想定通りの穏やかな流れになれば、

一発があっても不思議ではないと考えます。

血統評価：B

ラップ評価：A

前走評価：B

実績評価：C

相対指数：B

・ルージュスティリア

父：ディーピンパクト

母父：ストームキャット(米ストームバード系)

祖母父：ナシュワン(欧ブラッシンググルーム系/ナスルーラ系)

ディープ×米国型ノーザンダンサー系の配合馬が  
過去10年のヴィクトリアマイルで馬券になったのは、  
2走前にジャパンカップを勝ったショウナンパンドラのみ。

レイパレやラヴズオンリーユーと言った  
名牝と呼べる馬達でさえ馬券圏外に散っております。

また、前走がマイルのG2で6着以下だった  
ディーピンパクト産駒がマイルG1で馬券圏内に  
入線したのは1頭しか居らず、血統の字面から来る  
「走るんちゃうやろか」と言う妄想は捨てるべきかも知れません。

血統評価：C

ラップ評価：B

前走評価：C

実績評価：C

相対指数：C

・ロータスランド

父：ポイントオブエントリー(欧ロベルト系)

母父:スキヤットダディ(米ストームバード系)

祖母父:クリスエス(欧州ベルト系)

血統面では推し材料はありません。

本馬の本領は、  
後傾ラップ(瞬発戦)の1400mです。

ただ、**ロベルト**の血を父と祖母に持つため、  
叩いて上昇する傾向があり、休み明けでなければ、  
ソングラインを一蹴した関屋記念のような事も  
考えられなくはありません。

血統評価:D

ラップ評価:C

前走評価:C

実績評価:C

相対指数:D